

パンタナール通信

南北米福地開発協会

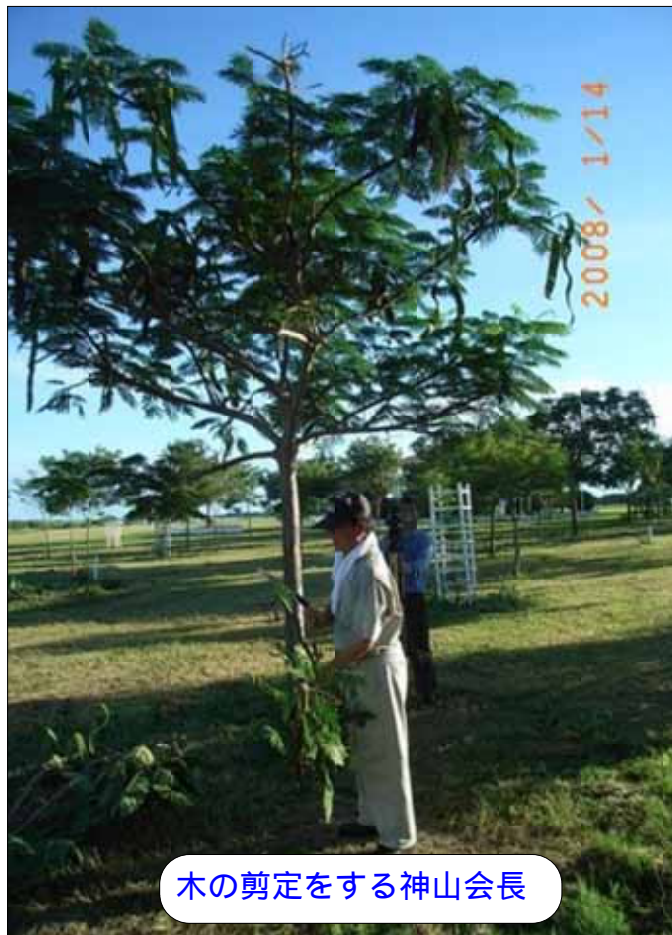
会報

2008年2月1日

53号



レダに現れた瑞雲



木の剪定をする神山会長



3年ぶりの現地労働者との懐かしい出会い

南北米福地開発協会神山会長、
レダ訪問
久しぶりにレダの地を訪れた神山会長は、各農場をめぐって、炎天下、汗ビッシュヨリになりながら詳しくジャトロファやモリンガ、タルタゴ、緑肥、ニームなどの成長を見られ、ひとつひとつの植物の説明をされた。日本並びにアメリカの会員のために現在のレダの発展の状況と会長の説明をビデオに収めることが出来た。レダで体が動かせることが楽しくて仕方が無いと言う心情で、「レダにいと三年半のプランクが取り払われて、ここであれもしたい、これもしたいと意欲や構想が次々湧いてくる」と語られています。(飯野記)

レタ現地にて正月を過ごす飯野事務
 総長はじめ日本の技術者の面々

(前列左から佐野氏、中田氏、飯
 野事務総長、紅屋氏、後列左から金
 子氏、大山氏、伊達氏、大和田氏、
 綿貫氏)



地球環境問題 (飯野事務総長より)

問題一：次の文章の中の空白番号部分に
 適切な言葉を入れて下さい。

地球環境問題(ちきゅうかんきょうもんだい)とは、環境問題の一種で、問題の発生
 源や被害が特に広域的な(地球規模の)も
 のを指す。

環境問題の一部は、ごみ問題、局地的な公
 害のように、国やその一部地域内で発生し、
 比較的完結したものに留まる。これに対し、
 地球 破壊、

雨のように、発生源や被害地が必ずしも一
 定地域に限定できないものがある。このよ
 うな問題が主に地球環境問題に該当する。

地球環境問題の一例として、地球規模で
 の 現象が挙げられる。人類が農
 業を始めるようになって、多くの地域が
 化している。エジプト、メソポタミ
 ア(現在のイラク)、インダスなど、

の栄えた地域は、乱開発により完全
 に 化している。文明の栄えた初
 期には、これらの地域には森林が広がり、
 非常に肥えた土壌を誇っていた。

土地が 化した結果、食物が育
 たないようになり、土地の水分が失われ、
 最終的に雨が降らなくなった。現在も
 の面積は増え続けている。一年の間に

約六〇〇万ヘクタール(九州と四国を合わ
 せた程度の面積)が 化している
 といわれる。

主な地球環境問題として、次のようなもの
 がしばしば挙げられる。

(1) 工業化の進展や自動車の普及に伴う
 汚染、 雨

(2) 工業排水や生活排水など
 による 汚染・土壌汚染

(3) ガスの排出による
 破壊

(4) 炭素等の
 放出などによる地球 。

上昇・凍土融解
 (5) 開発にともなう、 多様性の

減退・生態系の破壊
 (6) 自然への影響を考えない土地の開発、
 を考慮しない大規模な森林



《解答》

問題一 温暖化、 オゾン層、

酸性、 砂漠、 古代文明、 砂漠、

大気、 水質、 フロン、 二酸化

温室効果 海面 生物、 植林



東京近郊の会員新年会（1月13日）



事務局前にある大山街道ふるさと会館において新年会を行い、多くの会員が参加しました。
 午前中は柴沼事務局長がパワーポイントを用いて、昨年一年間の活動報告と今年の計画について報告をし、午後は親睦会で歌、ビンゴ大会、じゃんけん大会をし、皆、童心に帰る楽しいひと時を過ごした。
 二〇〇八年度の日本での基本的な活動計画は四月二十五日から五月五日までのパンタナールエコツアー、八月に第八回国際協力青年奉仕隊をパンタナールへ送ること、レダの地の植林を《NPO地球の緑を守る会》と協力しておこなう。教育活動として月に一度の環境セミナーの開催、会員の交流のため、月に一度の釣り大会をしていく等のことが決定されました。

一日環境セミナー 御案内

日時 二〇〇八年二月二十四日(日)

場所 南北米福地開発協会 事務局

参加費 二千元(昼食付き)

研修内容

午前中

『温暖化対策における植樹活動の意義』

地球の緑を守る会 理事長

高津啓洋

午後

『パンタナールエコツアーリズムの魅力』

南北米福地開発協会 事務局長

柴沼邦彦

南北米福地開発協会 事務局

〒二二二-〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口三十一-十五 岩崎ビル4F

電話 〇四四-八二九-二八二一

Fax 八二九-二八二〇

会費納入 郵便口座

一〇一八 〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@sds-nsa.jp

ホームページ http://www.asd-NSA.jp